■畑作物の除草剤（ばれいしょ・てんさい）

効果の表示　◎大　○中　△小　×劣る（令和6年度くみあい農作物病害虫・雑草防除ガイドより）、●登録有（農薬メーカーHPより、2024年12月3日現在）

作物名	使用方法	毒性	薬剤名	成分	使用時期	使用量 10a当り	使用回数	対象雑草 一年生雑草	一年生イネ科雑草	多年生雑草	除草効果 レッドトップ	シバムギ	スズメノカタビラ	アブラナ科	シロザ	タデ科	スカシタゴボウ	ハコベ	ツユクサ	防除上の注意事項
ばれいしょ	雑草茎葉散布又は全面土壌散布	－	センコル水和剤	メトリブジン 50%	植付直後～萌芽直前	100g	1回	●	◎～○						◎	◎	◎	◎	◎	・採種圃場では散布が遅れるとウイルス病株と混同されやすいので注意する。 ・有機質含有量の少ない砂土系の土壌では薬害を生じやすい。 ・散布後、多量の雨があると、薬害を生じる恐れがある。 ・土壌の乾燥が続く場合は効果の劣ることがある。
		－	ナブ乳剤	セトキシジム 20%	イネ科雑草3～5葉期 収穫前日まで	150～200ml	2回		◎						×	×	×	×	×	・イネ科雑草が完全に枯死するまで7～10日程度を要する。 ・スズメノカタビラに効果が劣る。
					イネ科雑草6～8葉期 収穫前日まで	200ml														
		－	セレクト乳剤	クレトジム 24%	イネ科雑草3～5葉期 収穫30日前まで	50～75ml	1回		◎						×	×	×	×	×	・イネ科雑草が完全に枯死するまで7～10日程度を要する。 ・スズメノカタビラには効果の発現に2～3週間程度を要する。 ・スズメノカタビラに対しても効果があるが、締約量では劣る場合がある。 ・低温時には効果が劣る場合がある。
		－	ワンサイドP乳剤	フルアジホップP 17.5%	イネ科雑草3～8葉期 収穫前日まで	75～100ml	1回		◎		●	●			×	×	×	×	×	1．イネ科雑草が完全に枯死するまで3週間程度を要する。 2．スズメノカタビラには効果が劣る。
	全面土壌散布	－	ラッソー乳剤	アラクロール 43%	植付後（植付14日後まで、雑草発生前）	300～400ml	1回	●							△	△	○	◎	○	・雑草の発生前に散布する。 ・整地、覆土を周到に行うこと。
		－	ロロックス	リニュロン 50%	植付直後～萌芽前	100～200g	1回	●	○～△						◎	◎	◎	◎	△	・雑草発生初期散布効果大。 ・一年生イネ科雑草が優占する場合は、非イオン系展着剤を加用する。
てんさい	雑草茎葉散布又は全面土壌散布	－	レナパック水和剤	レナシル 40% PAC 30%	移植：活着後(雑草発生始期) 収穫60日前まで	200～300g （水量50～100ℓ）	2回	●	△						◎	◎	◎	◎	×	・生育の進んだ雑草には効果が劣るので、雑草発生始期に散布する。 ・専用展着材レナテンを加用する。 ・移植てんさいの散布水量は50～100ℓ/10aとする。
					直播：本葉2葉期(雑草発生始期)	200g （水量100ℓ）														
					移植・直播：中耕後(雑草発生始期) 収穫60日前まで	200～300g （水量100ℓ）														
		－	ハーブラックWDG	メタミトロン 70%	移植：移植活着後(雑草発生始～発生揃期) 但し収穫30日前まで	400～600g （水量50～100ℓ）	5回		×						◎	◎	◎	◎	×	・薬液調製後は速やかに散布する。非イオン系展着剤を加用する。
					直播：子葉展開期～本葉抽出期 （雑草発生始期～発生揃） 本葉2葉期以降 （雑草発生始期～発生揃） 但し収穫30日前まで	250～350g （水量50～100ℓ）														
		－	ベタハーブフロアブル	フェンメディファム 9.0% メタミトロン 27.0%	移植：活着後 （雑草発生揃） 但し収穫60日前まで	500～700ml （水量50～100ℓ）	3回		△						◎	◎	◎	◎	△	・水量は50～100/10aとする。 ・非イオン系の展着剤を加用する。
					直播：本葉2葉期展開 （雑草発生揃） 但し、収穫60日前まで	400～600ml （水量50～100ℓ）														
		－	ナブ乳剤	セトキシジム 20%	移植：育苗期一年生雑草の1～3葉期	150～300ml （水量150ℓ） (0.3～0.6ml、 水量300ml/ﾍﾟｰﾊﾟｰﾎﾟｯﾄ6冊)	2回		◎				×		×	×	×	×	×	・イネ科雑草を完全に故殺するまでに7～10日を要するので、誤ってまき直しなどをしないように注意する。 ・スズメノカタビラには効果が劣る。
					移植・直播：一年生イネ科雑草の3～5葉期 但し収穫30日前まで	150～200ml （水量100ℓ）														
					移植・直播：一年生イネ科雑草の6～8葉期 但し収穫30日前まで	200ml （水量100ℓ）														
					移植・直播：シバムギの3～5葉期	300～400ml					●	●								
		－	セレクト乳剤	クレトジム 24%	一年生イネ科雑草の3～5葉期 但し収穫30日前まで	35～50ml	2回		◎						×	×	×	×	×	・イネ科雑草が完全に枯死するまでに1週間程度を要する。 ・スズメノカタビラには効果の発現に2～3週間程度を要する。 ・50ml/10aの薬量ではスズメノカタビラに効果が不十分な場合がある。 ・低温時には効果が劣る場合がある。
					一年生イネ科雑草の5～8葉期 但し収穫30日前まで	50～75ml														
					レッドトップ・シバムギ・スズメノカタビラ 3～5葉期　但し収穫30日前まで	50～75ml					●	●								
		－	ベタナール乳剤	フェンメディファム 14.7%	移植：育苗期の本葉展開後（雑草発生初期）	1.5ml/ﾍﾟｰﾊﾟｰﾎﾟｯﾄ6冊 （0.75ml/㎡） (水量300mℓ/ﾍﾟｰﾊﾟｰﾎﾟｯﾄ6冊(150ml/㎡))	3回	●	△	●					◎	◎	◎	◎	△	・薬液調製後は速やかに散布する。 ・非イオン系展着剤を加用する ・土壌が乾燥している場合は効果が劣るので水量を多めとする。 ・雑草が大きくなり過ぎると極端に効果が劣るので、適期散布に注意する。
					移植：活着後、中耕後（雑草発生揃期） 但し収穫60日前まで	500～600ml （水量50～80ℓ）														
					直播：本葉2葉展開後、中耕後(雑草発生揃) 但し収穫60日前まで	500～600ml （水量50～80ℓ）														
	雑草茎葉散布				直播：子葉展開期～本葉抽出期（雑草発生揃） 但し収穫60日前まで	150～200ml （水量50～80ℓ）														
	全面土壌散布	－	フィールドスターP乳剤	ジメテナミドP 64%	移植：移植後（雑草発生前） 但し収穫45日前まで	75～120ml （水量70～100ℓ）	2回	●	◎			○		△～×	△	△	△	○	・雑草発生後の使用は効果が劣るため必ず雑草発生前に使用する。 ・砂土では使用しない。 ・アカザ科、アブラナ科、タデ科など一部紅葉雑草には効果が劣るため、必ずこれらに効果のある除草剤と混用して使用すること。 ・直播で使用する場合は、葉齢が進んでいない個体では生育が抑制される場合があるため、中耕後(6葉期以降)に使用する。
					直播:中耕後（雑草発生前） 但し収穫45日前まで															
		－	デュアールゴールド	S-メトラクロール 83．7%	移植：活着後（雑草発生前） 但し収穫90日前まで	70～100ml （水量70～100ℓ）	2回		◎			○		△～×	△	△～×	△	○	・砂土では使用しない。 ・水稲に薬害を生じる恐れがあるため、使用ほ場では当年または翌年の水稲栽培は避ける。
					直播：出芽揃期（雑草発生前）															